

# 武蔵村山市立小・中一貫校 (仮称) 武蔵村山学園の教育について (概要)

平成 19 年度武蔵村山市立小・中一貫校カリキュラム作成委員会報告書 平成 20 年 3 月 31 日発行 武蔵村山市教育委員会小・中一貫校開設準備室 042 - 565 - 1111

## 1 第1章 基本理念

### 1 (仮称)武蔵村山学園の役割

小・中学校の円滑な接続の在り方や、義務教育 9 年間の系統的・継続的な指導の在り方等について実践的に研究し、市内における小・中連携教育の発信校としての役割を担う。

- (1) 接続前の小学校低・中学年における学習習慣の確立
- (2) 5・6 年生では一部教科担任制の実施
- (3) 7 年生では小学校で身に付けた知識・技能の活用
- (4) 小・中学校教師の相互交流の促進による効果的な指導の開発

### 2 中央教育審議会答申と(仮称)武蔵村山学園について

新学習指導要領の理念「生きる力をはぐくむこと」と、(仮称)武蔵村山学園の教育目標「人間力の育成」は共通する理念である。当該答申の中で、特に「発達段階に応じた学校間の円滑な接続の在り方」について、(仮称)武蔵村山学園は、実際の教育活動を通じて開発・研究していく。

### 3 (仮称)武蔵村山学園の教育目標

#### 人間力の育成

9 年間の義務教育における系統的、継続的な学びを通して、豊かな感性と知性をはぐくみ、心身ともにたくましく、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けた児童・生徒を育成する。

人にやさしく 自分に強く 英知を磨く村山の子

### 4 (仮称)武蔵村山学園が目指す子供像

(仮称)武蔵村山学園は、知的能力、対人関係力、自己制御力を身に付けた子供の育成を目指します。

- めあてをもって、自ら学び続ける子供(知的能力)
- 友達と仲よくかわり、きまりを守る子供(対人関係力)
- 心と体を鍛え、最後までやりとげようとする子供(自己制御力)

### 5 (仮称)武蔵村山学園が目指す教師像

私たち(仮称)武蔵村山学園の教師は、児童・生徒の成長を願い、どこまでも一人一人を大切に教育の実現を目指して取り組みます。

◎率先垂範の心で、常に真理を求め姿勢を忘れず、慈愛に満ちた指導をする教師

- 授業力のある教師
- 常に子供たちとある教師
- 保護者・地域に信頼される教師

## 2 第2章 教育課程編成の基本方針

### 1 教育課程編成基本方針

- (1) 文部科学省学習指導要領に準拠する。
- (2) 義務教育 9 年間の系統性・継続性に留意する。
- (3) 社会の変化への対応課題 4 重点を、教科横断的に取り扱う。
- (4) 児童・生徒の発達の状況を的確にとらえて編成する。

### 2 各学年の呼び方、学年区分の名称、発達段階のとらえ方

1 年生から 4 年生	低学年部	学習基礎定着期
5 年生から 7 年生	中学年部	学習充実期
8 年生・9 年生	高学年部	学習発展期

### 3 1 単位時間と生活時程表について

- (1) 1 単位時間 45 分と 50 分の違いをどう乗り越えるか。
- (2) 授業等開始時間を 1 日に 4 回、合わせることから始める。  
例：1 時間目、3 時間目、昼休み、5 時間目

### 4 年間授業日数と総授業時数について

新学習指導要領における年間授業時数増加に対応するための方策を提言

- (1) 7 時間目の授業設定 (週 1 日程度、年間 35 回程度)
- (2) 土曜日の授業設定(年間 20 日程度、計 80 時間程度)
- (3) 夏季休業日中の授業設定(5 日間。校長の裁量で実施決定)

## 4 第4章 学園名、学園歌等

### 1 市立小・中一貫校学園名策定委員会(仮称)の設置

- (1) 学園名策定の背景と必要性 (2) 学園名策定委員会の組織
- (3) 学園名策定委員会の活動計画

### 2 市立小・中一貫校学園歌策定委員会(仮称)の設置

- (1) 学園歌策定の背景と必要性 (2) 学園歌策定委員会の組織
- (3) 学園歌策定委員会の活動計画

### 3 市立小・中一貫校シンボルマーク策定委員会(仮称)の設置

- (1) シンボルマーク策定の背景と必要性 (2) シンボルマーク策定委員会の組織 (3) シンボルマーク策定委員会の活動計画

### 4 市立小・中一貫校標準服導入検討委員会(仮称)の設置

- (1) 標準服の導入について (2) 標準服導入検討委員会の組織
- (3) 標準服導入検討委員会の活動計画

## 3 第3章 特色ある教育活動

### 1 言語力育成

- (1) 漢字検定の推奨 (2) 日本の古典に親しむ活動
- (3) 読書力の向上を目指す活動

### 2 情報リテラシー育成

- (1) 情報モラルの育成 (2) 新聞教育の導入 (3) コンピュータ等情報機器を活用した学習 (4) 学校図書室活用の推奨

### 3 キャリア教育

- (1) 職場訪問、職場体験の実施 (2) 生き方を考える学習の実施
- (3) 租税教育・消費者教育の実施

### 4 心の教育

- (1) 道徳の時間を重視する (2) 規範意識を育てる (3) 礼儀の徹底

### 5 英語教育

- (1) 全学年で英語の時間を実施 (2) ALT の活用
- (3) 英語検定の奨励 (4) 米軍横田基地内の小・中学生との交流活動

### 6 体力を高める教育活動

- (1) 新体力テストの導入 (2) 全校縄跳び大会、全校持久走大会等の開催
- (3) スポーツ教室の開催 (4) 全校一斉外遊びの日
- (5) 全校徒歩遠足の実施 (6) 歯磨き指導

### 7 交流・体験活動の重視

- (1) 日本の伝統文化に親しむ体験 (2) 宿泊体験を重視

### 8 5 年生からの一部教科担任制の導入

### 9 部活動の充実

### 10 幼稚園・保育園、高等学校、大学と連携した教育活動

- (1) 幼稚園・保育園との連携 (2) 高等学校との連携 (3) 大学との連携

## 5 第5章 各教科・領域等カリキュラム (第1次)

### 1 各教科・領域等で育てたい力と重点指導項目

- (1) 各教科・領域等で育てたい力 14 教科・領域等
- (2) 各教科・領域等の重点指導項目 14 教科・領域等

### 2 各教科・領域等の年間指導計画、指導内容系統一覧表等

- (1) 各教科・領域等の年間指導計画 14 教科・領域等
- (2) 各教科・領域等の指導内容等系統一覧表 14 教科・領域等

### 3 基本カリキュラム4重点の場面シラバス 208案

- (1) 言語力育成カリキュラムの場面シラバス 52 案
- (2) 情報リテラシー育成カリキュラムの場面シラバス 52 案
- (3) キャリア教育カリキュラムの場面シラバス 52 案
- (4) 心の教育カリキュラムの場面シラバス 52 案